

大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) 構想概要

北海道大学(国内連携大学:東京大学、酪農学園大学)

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

日本とタイの獣医学教育連携:アジアの健全な発展のために

【プログラムの目的・養成する人材像】

新興再興感染症, 食の安全, 動物福祉および環境保全などアジアが抱える諸問題にグローバルな視点で立ち向かう獣医師及び獣医学研究者・教育者を養成し, アジアの健全な発展に資することを目的とする。アジア各国の獣医系大学, 研究所, 行政機関, 動物病院及び企業において獣医学に関連する諸問題への対策を国際的な視野で主導し, アジア全体を俯瞰できる獣医師, 獣医学研究者・教育者を育成する。

【構想の概要】

日本の3大学(北海道大学, 東京大学, 酪農学園大学)とタイのカセサート大学とが単位互換をとまなう獣医学部学生の交換留学を行い, タイではASEAN諸国のリーダーとなる獣医師を, 日本ではアジアの状況を把握し世界的な視野で活躍できる獣医師を育成する。

■ 交流プログラムの質の保証

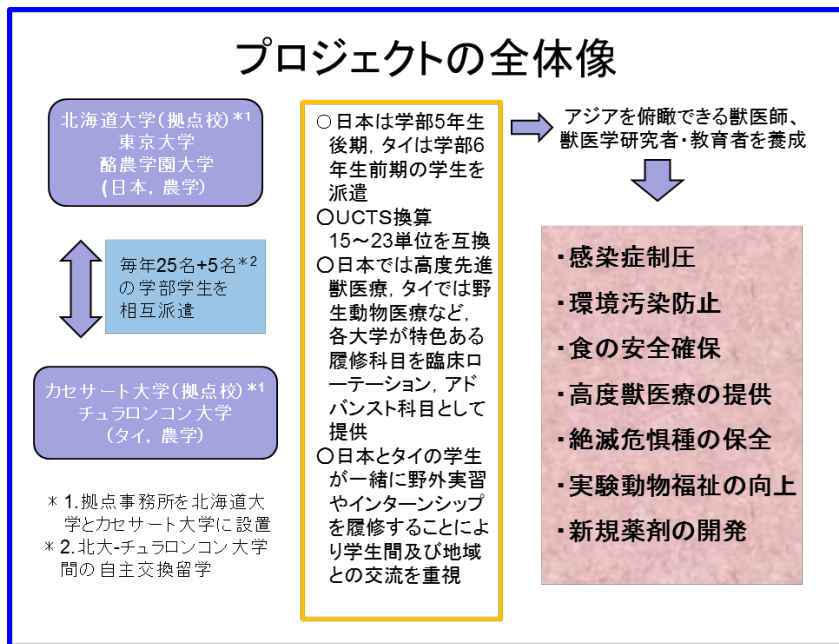
○ プロジェクト推進組織

- ・北大拠点事務所, タイ拠点事務所を置き, 学生の生活及び履修のサポート及び大学間の調整を行う。
- ・重要事項等を審議するため, 北海道大学, 東京大学, 酪農学園大学各5名からなる国内委員会及び日本の3大学, タイのカセサート大学, チュラロンコン大学各2名からなる国際委員会を設置し, 公平・公正なプログラム運営を行う。

○ 単位の相互認定, 実質化

- ・担当教員, 国内委員会の成績評価を経て, 最終的に国際委員会で認定する。拠点事務所に常駐する教員は, 学生及び担当教員と面談を行い, 成績評価の透明性と客観性を担保し, 単位の実質化を厳守する。

■ 交流プログラムの内容



臨床実習(北海道大学)



AIMSプログラムレビューミーティング

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) 申請時の計画

	H25					H26					H27					H28					H29										
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	
学生の派遣	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	25	-	-	-
学生の受入	-					25					25					25					25										

M: マレーシア I: インドネシア T: タイ V: ベトナム P: フィリピン B: ブルネイ

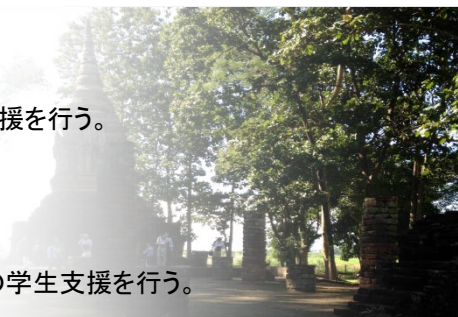
■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

○ 外国人学生へのサポート体制(受入)

- ・北大拠点事務所において, 履修指導, 教育支援, カウンセリング等の学生支援を行う。
- ・シラバスを英語で作成し配付する。履修情報等をHPに公開する。
- ・カセサート大駐在の日本人教員が事前・事後研修を行う。

○ 留学中の日本人学生への支援(派遣)

- ・カセサート大拠点事務所において, 履修指導, 教育支援, カウンセリング等の学生支援を行う。
- ・北大駐在の外国人教員が事前・事後研修を行う。



大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) 取組概要

北海道大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

日本とタイの獣医学教育連携:アジアの健全な発展のために

【プログラムの目的・養成する人材像】

新興再興感染症, 食の安全, 動物福祉および環境保全などアジアが抱える諸問題にグローバルな視点で立ち向かう獣医師及び獣医学研究者・教育者を養成し, アジアの健全な発展に資することを目的とする。アジア各国の獣医系大学, 研究所, 行政機関, 動物病院及び企業において獣医学に関連する諸問題への対策を国際的な視野で主導し, アジア全体を俯瞰できる獣医師, 獣医学研究者・教育者を育成する。

【構想の概要】

日本の3大学(北海道大学, 東京大学, 酪農学園大学)とタイのカセサート大学とが単位互換をともなう獣医学部学生の交換留学を行い, タイではASEAN諸国のリーダーとなる獣医師を, 日本ではアジアの状況を把握し世界的な視野で活躍できる獣医師を育成する。

■ 交流プログラムの質の保証

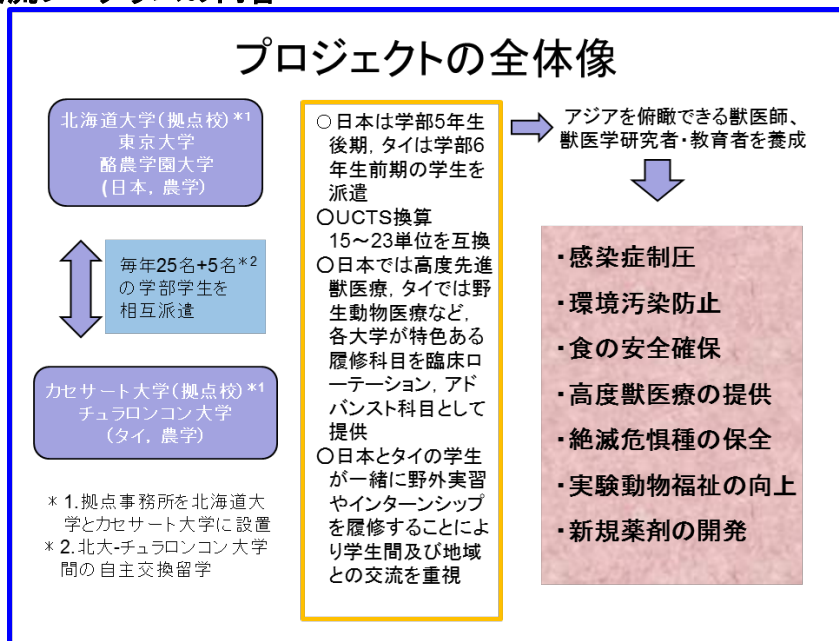
○ プロジェクト推進組織

- ・北大拠点事務所, タイ拠点事務所を置き, 学生の生活及び履修のサポート及び大学間の調整を行う。
- ・重要事項等を審議するため, 北海道大学, 東京大学, 酪農学園大学各5名からなる国内委員会及び日本の3大学, タイのカセサート大学, チュロンコン大学各2名からなる国際委員会を設置し, 公平・公正なプログラム運営を行う。

○ 単位の相互認定, 実質化

- ・担当教員, 国内委員会の成績評価を経て, 最終的に国際委員会で認定する。拠点事務所に常駐する教員は, 学生及び担当教員と面談を行い, 成績評価の透明性及び客観性を担保し, 単位の実質化を厳守する。なお, 認定基準及び成績評価基準はプロジェクトホームページで公開し, 学生に周知する。

■ 交流プログラムの内容



臨床実習(北海道大学)



臨床実習(カセサート大学)

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

■ 注) H25は実績, H26以降は申請時の計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	—	—	25	—	—	—	—	—	25	—	—	—	—	—	25	—	—	—	—	—	25	—	—	—
学生の受入	0						25						25						25						25					

M: マレーシア I: インドネシア T: タイ V: ベトナム P: フィリピン B: ブルネイ

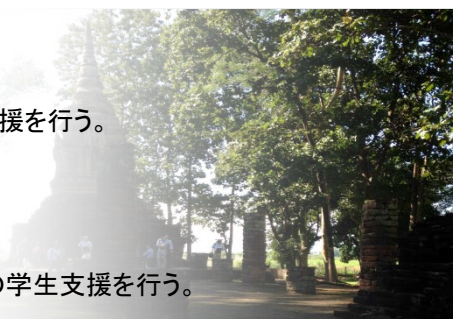
■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

○ 外国人学生へのサポート体制(受入)

- ・北大拠点事務所において, 履修指導, 教育支援, カウンセリング等の学生支援を行う。
- ・シラバスを英語で作成し配付する。履修情報等をHPに公開する。
- ・カセサート大駐在の日本人教員が事前・事後研修を行う。

○ 留学中の日本人学生への支援(派遣)

- ・カセサート大拠点事務所において, 履修指導, 教育支援, カウンセリング等の学生支援を行う。
- ・北大駐在の外国人教員が事前・事後研修を行う。



大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H26取組概要

北海道大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

日本とタイの獣医学教育連携:アジアの健全な発展のために

【プログラムの目的・養成する人材像】

新興再興感染症, 食の安全, 動物福祉および環境保全などアジアが抱える諸問題にグローバルな視点で立ち向かう獣医師及び獣医学研究者・教育者を養成し, アジアの健全な発展に資することを目的とする。アジア各国の獣医系大学, 研究所, 行政機関, 動物病院及び企業において獣医学に関連する諸問題への対策を国際的な視野で主導し, アジア全体を俯瞰できる獣医師, 獣医学研究者・教育者を育成する。

【構想の概要】

日本の3大学(北海道大学, 東京大学, 酪農学園大学)とタイのカセサート大学とが単位互換をとまなう獣医学部学生の交換留学を行い, タイではASEAN諸国のリーダーとなる獣医師を, 日本ではアジアの状況を把握し世界的な視野で活躍できる獣医師を育成する。

■ 交流プログラムの質の保証

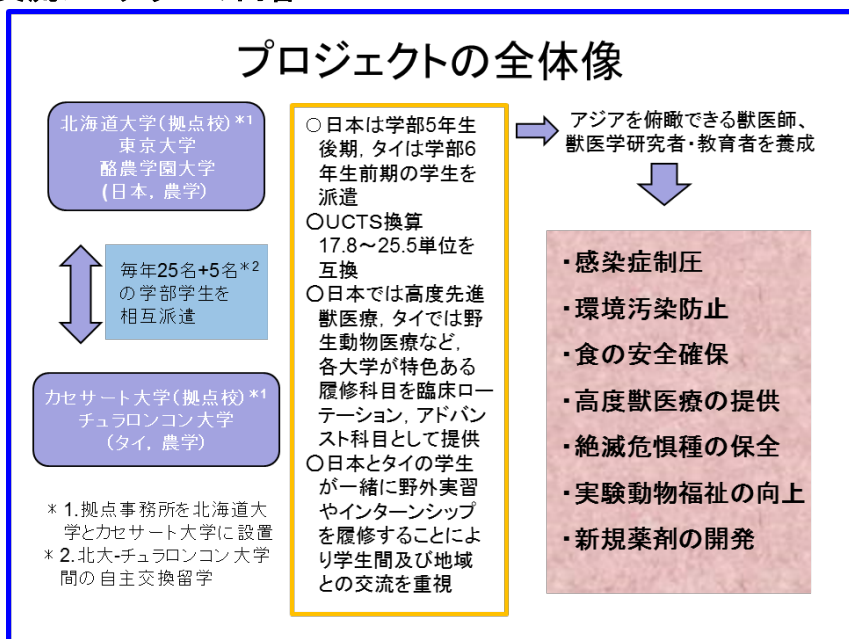
○ プロジェクト推進組織

- ・北大とタイのカセサート大学に拠点事務所を置き, 学生の生活及び履修のサポート及び大学間の調整を行う。
- ・重要事項等を審議するため, 北海道大学, 東京大学, 酪農学園大学各5名からなる国内運営委員会及び日本の3大学, タイのカセサート大学, チュラロンコン大学各2名からなる国際運営委員会を設置し, 公平・公正なプログラム運営を行う。

○ 単位の相互認定, 実質化

- ・授業担当教員, 国内運営委員会の成績評価を経て, 最終的に国際運営委員会で認定する。拠点事務所に派遣される授業担当教員は, 学生及び担当教員と面談を行い, 成績評価の透明性及び客観性を担保し, 単位の実質化を厳守する。なお, 認定基準及び成績評価基準はプロジェクトホームページで公開し, 学生に周知する。

■ 交流プログラムの内容



臨床実習(北海道大学)



野生動物実習(カセサート大学)

■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	—	—	25	—	—	—	—	—	25	—	—	—	—	—	25	—	—	—
学生の受入	0						25						25						25											

M: マレーシア I: インドネシア T: タイ V: ベトナム P: フィリピン B: ブルネイ

注) H26までは実績, H27以降は計画

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

○ 外国人学生へのサポート体制(受入)

- ・北大拠点事務所において, 履修科目の内容と単位数の点検, 教育支援, カウンセリング等の学生支援を行う。
- ・シラバスを英語で作成し配付する。履修情報等をHPに公開する。
- ・カセサート大から派遣される教員が事前研修を行い参加学生に対する生活支援を徹底化する。

○ 留学中の日本人学生への支援(派遣)

- ・カセサート大拠点事務所において, 履修科目の内容と単位数の点検, 教育支援, カウンセリング等の学生支援を行う。
- ・カセサート大へ派遣される日本人教員が事前研修を行い参加学生に対する生活支援を徹底化する。



大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H27取組概要 北海道大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

日本とタイの獣医学教育連携: アジアの健全な発展のために

【プログラムの目的・養成する人材像】

新興再興感染症、食の安全、動物福祉および環境保全などアジアが抱える諸問題にグローバルな視点で立ち向かう獣医師及び獣医学研究者・教育者を養成し、アジアの健全な発展に資することを目的とする。アジア各国の獣医系大学、研究所、行政機関、動物病院及び企業において獣医学に関連する諸問題への対策を国際的な視野で主導し、アジア全体を俯瞰できる獣医師、獣医学研究者・教育者を育成する。

【構想の概要】

日本の3大学(北海道大学、東京大学、酪農学園大学)とタイのカセサート大学とが単位互換をとまなう獣医学部学生の交換留学を行い、タイではASEAN諸国のリーダーとなる獣医師を、日本ではアジアの状況を把握し世界的な視野で活躍できる獣医師を育成する。

■ 交流プログラムの質の保証

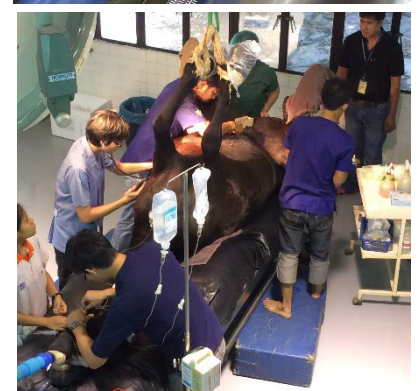
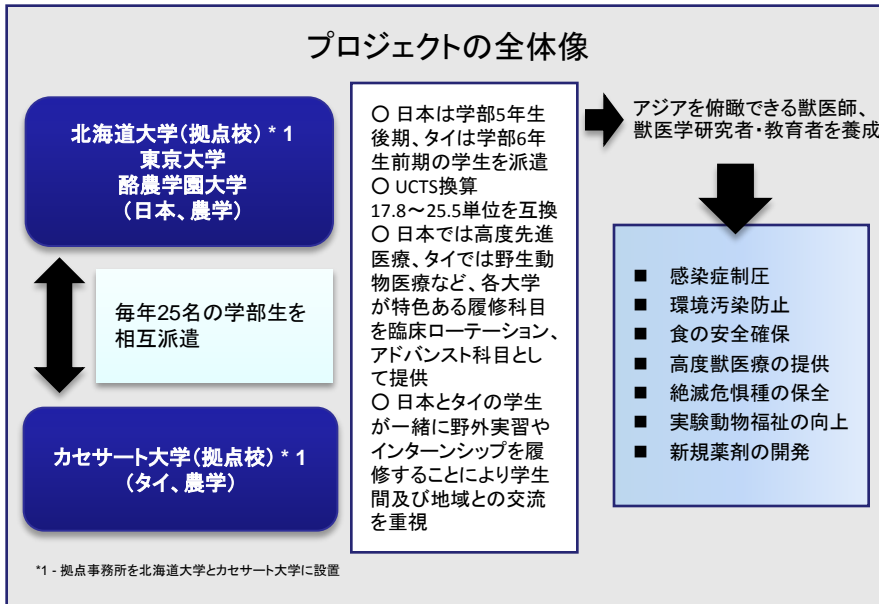
○ プロジェクト推進組織

- ・北大とタイのカセサート大学に拠点事務所を置き、学生の生活及び履修のサポート及び大学間の調整を行う。
- ・重要事項等を審議するため、北海道大学、東京大学、酪農学園大学各7~10名からなる国内運営委員会及び日本の3大学、タイのカセサート大学各2名からなる国際運営委員会を設置し、公平・公正なプログラム運営を行う。

○ 単位の相互認定, 実質化

- ・授業担当教員、国内運営委員会の成績評価を経て、最終的に国際運営委員会で認定する。拠点事務所に派遣される授業担当教員は、学生及び現地担当教員と面談を行い、成績評価の透明性と客観性を担保し、単位の実質化を厳守する。なお、認定基準及び成績評価基準はプロジェクトホームページで公開し、学生に周知する。

■ 交流プログラムの内容



■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) H27までは実績、H28以降は計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	-	-	20	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	25	-	-	-
学生の受入	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	-	-	25	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	25	-	-	-

M: マレーシア I: インドネシア T: タイ V: ベトナム P: フィリピン B: ブルネイ

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

○ 外国人学生へのサポート体制(受入)

- ・北大拠点事務所において、履修科目の内容と単位数の点検、教育支援、カウンセリング等の学生支援を行う。
- ・シラバスを英語で作成し配付する。履修情報等をHPに公開する。
- ・カセサート大から派遣される教員が事前研修を行い参加学生に対する生活支援を徹底化する。

○ 留学中の日本人学生への支援(派遣)

- ・カセサート大拠点事務所において、履修科目の内容と単位数の点検、教育支援、カウンセリング等の学生支援を行う。
- ・カセサート大へ派遣される日本人教員が事前研修を行い参加学生に対する生活支援を徹底化する。



大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H28取組概要

北海道大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

日本とタイの獣医学教育連携: アジアの健全な発展のために

【プログラムの目的・養成する人材像】

新興再興感染症、食の安全、動物福祉および環境保全などアジアが抱える諸問題にグローバルな視点で立ち向かう獣医師及び獣医学研究者・教育者を養成し、アジアの健全な発展に資することを目的とする。アジア各国の獣医系大学、研究所、行政機関、動物病院及び企業において獣医学に関連する諸問題への対策を国際的な視野で主導し、アジア全体を俯瞰できる獣医師、獣医学研究者・教育者を育成する。

【構想の概要】

日本の3大学(北海道大学、東京大学、酪農学園大学)とタイのカセサート大学とが単位互換をとる獣医学部学生の交換留学を行い、タイではASEAN諸国のリーダーとなる獣医師を、日本ではアジアの状況を把握し世界的な視野で活躍できる獣医師を育成する。

■ 交流プログラムの質の保証

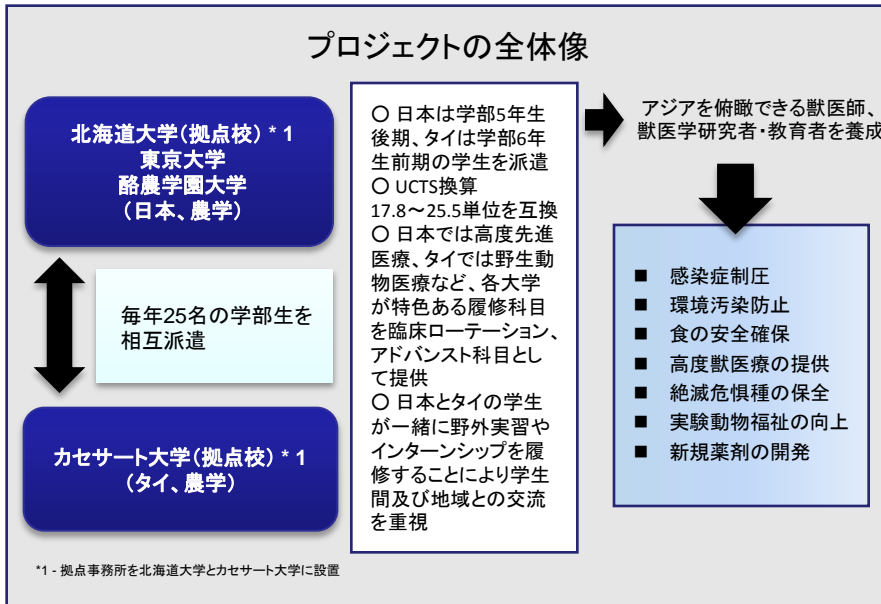
・ プロジェクト推進組織

- ・ 北大とタイのカセサート大学に拠点事務所を置き、学生の生活及び履修のサポート及び大学間の調整を行う。
- ・ 重要事項等を審議するため、北海道大学、東京大学、酪農学園大学各7～10名からなる国内運営委員会及び日本の3大学、タイのカセサート大学各2名からなる国際運営委員会を設置し、公平・公正なプログラム運営を行う。

・ 単位の相互認定、実質化

- ・ 授業担当教員、国内運営委員会の成績評価を経て、最終的に国際運営委員会で認定する。拠点事務所に派遣される授業担当教員は、学生及び現地担当教員と面談を行い、成績評価の透明性と客観性を担保し、単位の実質化を厳守する。
- なお、認定基準及び成績評価基準はプロジェクトホームページで公開し、学生に周知する。

■ 交流プログラムの内容



■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

注) H28までは実績、H29は計画

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	24	0	0	0	—	—	25	—	—		
学生の受入	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	23	0	0	0	—	—	25	—	—		

M: マレーシア I: インドネシア T: タイ V: ベトナム P: フィリピン B: ブルネイ

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

○ 外国人学生へのサポート体制(受入)

- ・ 北大拠点事務所において、履修科目の内容と単位数の点検、教育支援、カウンセリング等の学生支援を行う。
- ・ シラバスを英語で作成し配付する。履修情報等をHPに公開する。
- ・ カセサート大から派遣される教員が事前研修を行い参加学生に対する生活支援を徹底化する。

○ 留学中の日本人学生への支援(派遣)

- ・ カセサート大拠点事務所において、履修科目の内容と単位数の点検、教育支援、カウンセリング等の学生支援を行う。
- ・ カセサート大へ派遣される日本人教員が事前研修を行い参加学生に対する生活支援を徹底化する。



大学の世界展開力強化事業(AIMSプログラム) H29取組概要

北海道大学

【構想の名称】(選定年度25年度・AIMSプログラム)

日本とタイの獣医学教育連携:アジアの健全な発展のために

【プログラムの目的・養成する人材像】

新興再興感染症、食の安全、動物福祉および環境保全などアジアが抱える諸問題にグローバルな視点で立ち向かう獣医師及び獣医学研究者・教育者を養成し、アジアの健全な発展に資することを目的とする。アジア各国の獣医系大学、研究所、行政機関、動物病院及び企業において獣医学に関連する諸問題への対策を国際的な視野で主導し、アジア全体を俯瞰できる獣医師、獣医学研究者・教育者を育成する。

【構想の概要】

日本の3大学(北海道大学、東京大学、酪農学園大学)とタイのカセサート大学とが単位互換をともなう獣医学部学生の交換留学を行い、タイではASEAN諸国のリーダーとなる獣医師を、日本ではアジアの状況を把握し世界的な視野で活躍できる獣医師を育成する。

■ 交流プログラムの質の保証

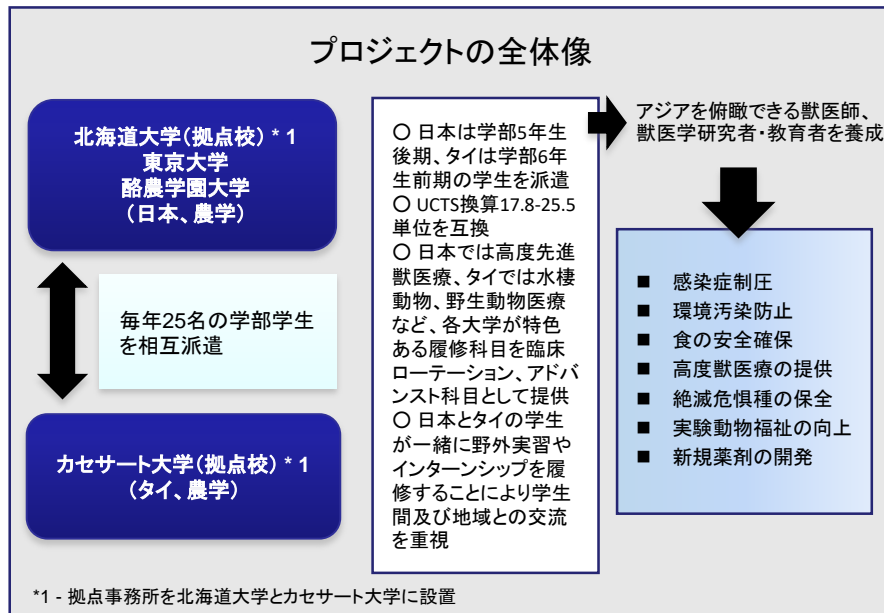
・ プロジェクト推進組織

- ・ 拠点事務所の設置: 北大とタイのカセサート大学に拠点事務所を置き、学生の生活及び履修のサポート及び大学間の調整を行う。
- ・ 運営委員会の設置: 重要事項等を審議するため、国内3大学各8~11名からなる国内運営委員会及び日本の3大学、タイのカセサート大学各2名からなる国際運営委員会を設置し、円滑で公正なプログラム運営を行う。

・ 単位の相互認定、実質化

- ・ 授業担当教員、国内運営委員会の成績評価を経て、最終的に国際運営委員会で認定する。拠点事務所に派遣される授業担当教員は、学生及び現地担当教員と面談を行い、成績評価の透明性と客観性を担保し、単位の実質化を厳守する。
- ・ なお、認定基準及び成績評価基準はプロジェクトホームページで公開し、学生に周知する。

■ 交流プログラムの内容



■ 交流プログラムにおける学生のモビリティ

M: マレーシア I: インドネシア T: タイ V: ベトナム P: フィリピン B: ブルネイ

	H25						H26						H27						H28						H29					
	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B	M	I	T	V	P	B
学生の派遣	0	0	0	0	0	0	0	0	26	0	0	0	0	0	20	0	0	0	0	0	24	0	0	0	0	0	27	0	0	0
学生の受入	0	0	0	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	25	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	20	0	0	0

■ 外国人学生の受入・日本人学生派遣のための環境整備

○ 外国人学生へのサポート体制(受入)

- ・ 北大拠点事務所において、履修科目の内容と単位数の点検、教育支援、カウンセリング等の学生支援および学生への情報開示を行う。
- ・ シラバスを英語で作成し配付する。履修情報等をHPに公開する。
- ・ タイ及び日本人教員が事前及び現地研修を行い参加学生に対する生活支援を行う。

○ 留学中の日本人学生への支援(派遣)

- ・ カセサート大拠点事務所において、履修科目の内容と単位数の点検、教育支援、カウンセリング等の学生支援を行う。
- ・ タイ教員および日本人教員が事前および現地研修を行い参加学生に対する履修及び生活支援を行う。

